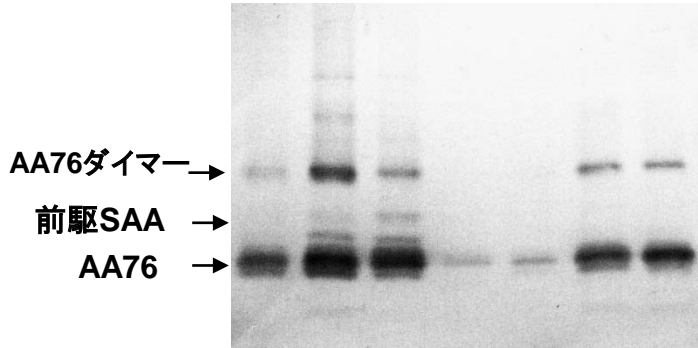


イムノブロットでのAA76サイズ検出によるAAアミロイドーシスの診断

自治医科大学 山田俊幸

背景: AAアミロイド沈着の主成分は、前駆SAAのN末端から76番目で切断されたAA76である

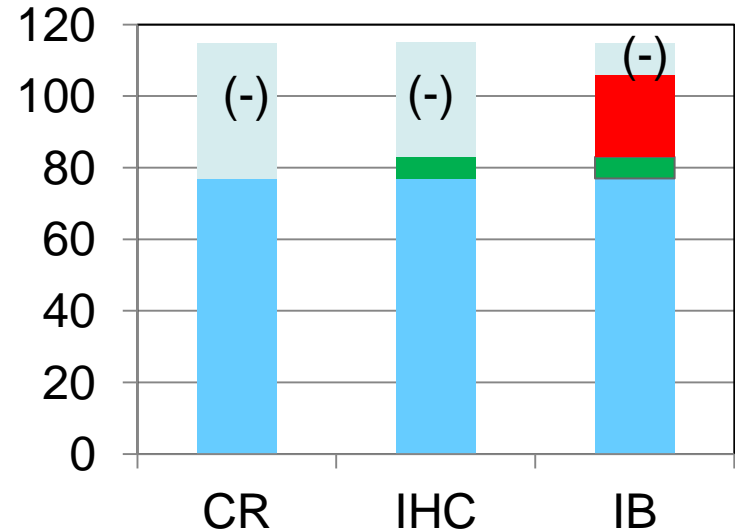


AAアミロイドーシス患者胃粘膜の抗SAA抗体によるイムノブロット

目的: 生検された胃粘膜または腹壁脂肪を未固定のままイムノブロットで分析し、AA76サイズの有無による診断有用性を検討した。

結果1: 陰性例14例全てでAA76は検出されなかった
(特異性が高い)

結果2: イムノブロット法 (IB) は115試料中106例、92.1%を陽性と判定し、コンゴレッド法 (CR) 67%、免疫染色法 (IHC) 72.2%の感度を上回った。(感度が高い)



結果3: 腹壁脂肪でもAA76が検出された
(他試料への応用性)



まとめ: 感度・特異性に優れた本診断法は様々な試料への応用が期待される。